



射水市立東明小学校 学校だより

東明っ子

第5号

令和3年6月22日

3分25秒 避難訓練！！

今年度初めての避難訓練を行いました。

6月9日（水）午前9時30分、用務の鈴木さんが家庭科室から出火したことに気付き、職員室に駆け込んできました。

牧教頭先生は、島木先生、向井先生に確認の指示をし、2人は消火器をもって走っていったところ、初期消火ができない状態でした。報告を受け、島木先生には火災報知機を押すこと、牧教頭先生には全校児童及び教職員にグラウンドに緊急放送をかけることを指示しました。また、事務の伏江さんには消防署へ通報するよう、島木先生にはグラウンドに避難本部旗を立てるよう指示をしました。



「訓練、訓練、ただ今、家庭科室より出火。直ちに窓を閉めて、全員、火元から離れて東明山のふもとに避難しなさい。訓練、訓練、ただ今、家庭科室より出火。直ちに窓を閉めて、全員、火元から離れて東明山のふもとに避難しなさい。以上」

緊急放送を聞いた子供たちは、素早く整列し、正しい避難経路を通過してグラウンドに集まりました。「お（押さない）・は（走らない）・し（しゃべらない）・も（もどらない）・ふ（ふざけない）」を守り、どの子供も真剣に取り組んでいました。グラウンドに整列した後も、しゃべったりふざけたりすることなく、きちんとした立派な態度でした。

避難開始の合図から全員避難完了の報告までに3分25秒を要しました。しっかり避難できたと思います。でも、一番大切なのは火災を起こさないことです。



少年消防クラブ入隊式

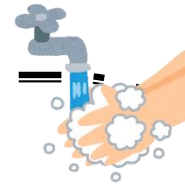
避難訓練の後に、5年生を対象にした少年消防クラブ入隊式を行いました。少年消防クラブとは、防火・防災意識の啓発を図ることを目的として、少年少女で結成されている自主的な防災組織です。クラブ員は、防火や防災についての知恵を身近な生活の中に見出すとともに、防火・防災に関する火災予防ポスターや防災マップの作成等積極的な活動を行っていきます。入隊式で子供たちは次の4つのことを誓いました。

- 一、わたしたちは、火遊びやたき火はしません。
- 一、わたしたちは、火の元点検を正確にします。
- 一、わたしたちは、火災予防についての知識を身につけます。
- 一、わたしたちは、火災のない明るい街づくりに努めます。



5年生には、学校や家庭、地域での防火リーダーとしての役割を期待します。

研究の推進 ～保健教育～



本年度より2年間、本校は富山県小学校教育研究会の県西部保健研究推進校の指定を受けました。本研究は保健の実践を行い、11月に開催される研究集会で取り組みの成果を発表します。

保健は、体育科保健領域の「保健学習」と特別活動の「保健指導」の大きく二つに分けられます。したがって保健に関する内容は、1年生から6年生まで全学年に関連しているといえます。また、射水市が推奨している毎月25日の「あったか家族」に関する内容は、家庭での保健生活にもつながります。



公開授業

研究のスタートとして、6月18日（金）に3年1組で研究授業が行われました。

体育科保健「けんこうな生活」という単元で、手洗いの大切さや衣服の着替えについて学びました。子供たちは水だけで洗った手にたくさんの菌が残っている写真にびっくりしたり、1日着た下着に特殊な液を付けて、菌がたくさんついているのを見て驚いたり、改めて手洗いや下着を着替えることの大切さを実感したようです。指導主事の先生からは「河合先生が子供たちの発言を捉え、活発に話し合いを行った点、また、養護教諭の城石先生が資料を整え、子供たちの前で実演した点がよかった」と温かい助言の言葉をいただきました。何よりも楽しい授業であり、授業後、子供たちが洗面所に並んで一生懸命に石鹸で手洗いをしている姿に、この授業が素晴らしい効果をあげていることを実感しました。これから、2年間、保健の研究を進めていきたいと思います。これからもアンケート等、ご家庭にもお願いすることがあると思います。何卒ご協力お願いいたします。

～夏の花のたより～

児童玄関前の東明池にスイレンが咲きました。フランスの画家モネの「睡蓮」はあまりにも有名ですが、その絵のように、水面に浮いた葉の上から、いくつものスイレンが咲き誇っています。毎朝、子供たちに挨拶をした後、眺めると清々しい気持ちになります。スイレンは午前中に花を開き、午後になると、眠る（睡る）ように花が閉じる（写真）ことから、「睡蓮」というそうです。確かに人間も午後からは眠くなりますよね。

夏がすぐそこまでやっています。



朝のスイレン



午後スイレン

(校長 阿尾昌樹)